

平成25年5月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年6月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,240億円余
2. 前年同月比	5.1% (5か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭4.9%(88.7%) : 非店頭6.5%(11.3%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成25年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	898,885㎡ (前年同月比:-1.4%)
6. 総従業員数	19,405人 (前年同月比:0.9%)
7. 3か月移動平均値	10-12月 0.1%、11-1月 0.7%、12-2月 0.3%、 1-3月 3.2%、2-4月 3.8%、3-5月 4.6%

[参考] 平成24年5月の売上高増減率は2.1% (店舗数調整後)

【5月売上の特徴】

- (1) 東京地区では、主力の衣料品 (売上構成比34.5%) が6.9%増と大きな伸びを見せ、ファッション主導で商況全般を牽引した。具体的には、カジュアル衣料を中心に紳士ではジャケット、パンツ、婦人もジャケット、パンツに加え、ワンピースなどの動きが良かった。
- (2) 高額品は、美術・宝飾・貴金属が5か月連続で二桁増 (1月:11.4%、2月:10.9%、3月:20.0%、4月:33.0%、5月:24.1%) となり引き続き活況であった。特に宝飾・時計は、50万円～100万円の価格帯を中心に依然底堅く動いており、100万円を超える高額帯にも動きが見られた。なお、最近の株価乱高下による影響は今のところ報告されていない。
- (3) 今年5月は晴天が続いたため、UV対策商材が好調で、サングラス、帽子、日傘、ネックウェア、UV化粧品などの売上が大きく伸びた。
- (4) 母の日商戦は、最近の傾向である直近需要で盛り上り、扇子、財布、晴雨兼用傘、スカーフ、生花、洋菓子などに人気が集まった。
- (5) 6月中旬までの都内の商況は、概ね3～4%増で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数20店舗)
①増加した:10店、②変化なし:4店、③減少した:6店
- (3) 5月歳時記 (GW、子供の日、母の日) の売上 (同上/有効回答数17店舗)
①増加した:7店、②変化なし:7店、③減少した:3店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値/有効回答数20店舗)
①増加する:10店、②変化なし:9店、③減少する:1店、④不明:0店

東京地区百貨店 売上高速報 2013年05月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	124,096,609	100.0	5.1
紳士服・洋品	11,796,039	9.5	7.8
婦人服・洋品	26,265,691	21.2	8.2
子供服・洋品	2,533,789	2.0	-6.4
その他衣料品	2,230,580	1.8	3.2
衣 料 品	42,826,099	34.5	6.9
身のまわり品	17,959,688	14.5	7.2
化粧品	7,055,546	5.7	4.3
美術・宝飾・貴金属	7,810,724	6.3	24.1
その他雑貨	5,620,531	4.5	-2.0
雑 貨	20,486,801	16.5	9.0
家 具	2,009,557	1.6	4.6
家 電	911,346	0.7	-15.5
その他家庭用品	4,487,260	3.6	3.9
家 庭 用 品	7,408,163	6.0	1.2
生 鮮 食 品	4,672,596	3.8	0.9
菓 子	7,285,948	5.9	-1.1
惣 菜	6,274,502	5.1	0.4
その他食料品	8,208,686	6.6	0.0
食 料 品	26,441,732	21.3	-0.1
食 堂 喫 茶	3,233,074	2.6	5.7
サ ー ビ ス	2,321,622	1.9	-0.1
そ の 他	3,419,430	2.8	3.0

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	2,793,188 千円	-14.1
従 業 員 数	19,405 人	0.9
店 舗 面 積	898,885 m ²	-1.4

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が7か月連続、衣料品が4か月連続、雑貨が3か月連続、家庭用品が2か月連続のプラス。食料品が2か月連続のマイナスとなった。また化粧品が10か月連続、美術・宝飾・貴金属が5か月連続、紳士服・洋品、婦人服・洋品、家具が4か月連続、その他衣料品が2か月連続のプラス、惣菜、その他食料品が2か月ぶり、生鮮食品が4か月ぶり、その他家庭用品が13か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	5.1	—	5か月連続プラス
紳士服・洋品	7.8	0.7	4か月連続プラス
婦人服・洋品	8.2	1.7	4か月連続プラス
子供服・洋品	-6.4	-0.1	6か月連続マイナス
その他衣料品	3.2	0.1	2か月連続プラス
衣料品	6.9	2.3	4か月連続プラス
身のまわり品	7.2	1.0	7か月連続プラス
化粧品	4.3	0.2	10か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	24.1	1.3	5か月連続プラス*
その他雑貨	-2.0	-0.1	13か月連続マイナス*
雑貨	9.0	1.4	3か月連続プラス
家具	4.6	0.1	4か月連続プラス
家電	-15.5	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	3.9	0.1	13か月ぶりプラス
家庭用品	1.2	0.1	2か月連続プラス
生鮮食品	0.9	0.0	4か月ぶりプラス*
菓子	-1.1	-0.1	2か月連続マイナス*
惣菜	0.4	0.0	2か月ぶりプラス*
その他食料品	+0.0	0.0	2か月ぶりプラス*
食料品	-0.1	0.0	2か月連続マイナス
食堂喫茶	5.7	0.1	7か月連続プラス
サービス	-0.1	0.0	2か月連続マイナス
その他	3.0	0.1	2か月ぶりプラス
商品券	-14.1	-0.4	25か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>